

2024年6月28日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

MUFG 人権レポート 2024 の発行について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）は、本日、人権尊重への取り組みをまとめた「MUFG 人権レポート 2024」を発行しました。

（ウェブサイトへのリンク）

MUFG 人権レポート 2024 https://www.mufg.jp/dam/csr/report/humanrights/2024_ja.pdf

当社は、2018年に人権方針と環境・社会ポリシーフレームワークの制定以降、人権尊重実現に向けたさまざまな取り組みを進めてきました。2023年には、差別・ハラスメント防止等の社員の人権尊重に関する取り組みや、児童労働・強制労働・人身取引へのデューデリジェンス強化を含む融資先やサプライヤーの人権尊重に関する取り組み、「一般社団法人ビジネスと人権対話救済機構（JaCER）」への加盟による救済窓口の拡充等を示した、「MUFG 人権レポート 2023」を発行しました。

今般、2023年度版のレポート発行後の人権尊重の取り組みの進捗状況をお示するため、「MUFG 人権レポート 2024」を発行することとしました。当社は、「世界が進むチカラになる。」というパーパスを体現するため、人権尊重の取り組みを自ら実践し、グループ・グローバル一体で持続可能な環境・社会の実現に貢献していきます。

<MUFG 人権レポート 2024 のポイント>

社内体制		<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重を優先的に取り組むサステナビリティ課題の一つとして選定 人権方針の改定
ステークホルダー別	社員	<ul style="list-style-type: none"> 社員エンゲージメント向上や DEI*1 推進の基本方針である、MUFG 人事プリンシプルの改定 従業員エンゲージメントサーベイスコアや女性マネジメント比率を役員報酬に反映 DEI ステートメントを初めて制定 MUFG 健康経営宣言の発信
	お客さま	<ul style="list-style-type: none"> AI 管理手続の制定を通じた人権への配慮 Home Credit 社*2 子会社への出資を通じた金融包摂への貢献 児童労働等の人権課題や環境への配慮の認証である RSPO*3 認証情報のデジタルプラットフォーム化の実証実験を実施 ファイナンスを通じた人権尊重の取り組み支援 女性や多様なバックグラウンドを持つ経営陣が設立・運営するスタートアップ企業の支援 寄附金運用による給付型奨学金ファンドの組成検討
	投融資先	<ul style="list-style-type: none"> MUFG 環境・社会ポリシーフレームワーク改定（鉱業・バイオマス発電） 投融資先に関するデューデリジェンスの運用（件数や具体的な内容に関する記載を拡充）
	サプライヤー	<ul style="list-style-type: none"> 深刻度の高い人権課題に関するスクリーニング調査を実施
情報開示		<ul style="list-style-type: none"> 「MUFG 人権レポート 2024」の公表
ステークホルダーコミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> 外部有識者（ILO 高崎駐日代表等）とのディスカッション 国連ビジネスと人権フォーラムへの参加 アセットマネジメント領域における人権尊重にテーマを絞ったエンゲージメントの実施
グリーンバンス*4/救済		<ul style="list-style-type: none"> グリーンバンス・救済窓口の運用や対応

*1 ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン

*2 個人ローン事業を展開するコンシューマーファイナンスカンパニー

*3 Roundtable on Sustainable Palm Oil（持続可能なパーム油のための円卓会議）の略称。持続可能なパーム油製品の生産・購買・融資・利用の促進、国際的標準の策定、実施、検証、保証、および定期的な見直し等を行っている。

*4 企業活動から受ける悪影響を懸念するステークホルダーの声

以 上